

発刊にそえて

日頃は格別のご支援を賜り篤く御礼申し上げます。
本日お手元に「東京無限散歩」をお届け致します。

東京木材市場は大正八年(一九一九年)年に創業し、本年百五年目を迎えました。令和二年三月「東木百年史」(二百五十二頁)を制作、多くの方々に東木の歴史と現在の姿をお伝えすることが出来ました。なかでも中核をなした歴史編は五十のトピックスで百年間の歴史を振り返るといふ大変ユニークな構成でした。それぞれのトピックスの内容は文章と写真・地図等ふんだんにもりこまれており資料的な価値が高いという評価をいただきました。この歴史編のライターが本著の作者の松本裕介氏です。これが松本氏と東木のご縁となり、「東京無限散歩」につながる松本氏三部作が生まれることとなります。まず令和三年四月に「建材史論―木と石をめぐる旅」(三百十六頁)を発刊いたします。「木と石」は建材を木材のみでとらえるのではなく、木と石の両方で考えるところという試みで構成され注目を集めました。続いて令和三年十一月「東京建築百譚」(二百六十三頁)を発刊します。これは松本氏の専門である建築史に基づいて、東京にかつてあったが、現在は失われている建築物、他へ移築された建築物、計画はされたが実現されなかった建築物を取り上げて百の物語を綴っています。そして令和六年一月、本著「東京無限散歩」(三百十二頁)が発刊されました。令和三年十一月に企画概要が作られていますので、足掛け三年の時間をかけて完成いたしました。時間がかかった大きな要因は地図であります。松本氏は(さいごに)の中で「地図に関しては書き込みが全く足りていないのでありますが、漏れた内容を読者諸氏が補い、不足を正すことを楽しんでいただきたい。」と書かれています。実際に地図をご覧になった方は、その情報量の多さに驚かれるのではないのでしょうか。それでも松本氏にとっては「書いても書いても飽き足りない仕上がりに」と言っています。足掛け三年の重みはこの地図に表れています。今は多くの街歩きの書籍があふれていますが、本著の内容はそれらを超える作品でないかと自負しております。最後に地図を拡大したり印刷したりできるように当社のホームページに「東京無限散歩」へのリンクを設定し、便宜をお諮りしました。どうぞ、ご利用ください。

— おわりに皆様様の益々のご健勝を祈念申し上げます。

令和六年一月

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川 英治